

柳田雑記 (19) 私の戦いの歴史

2018年5月21日 柳田 健



1960年の第1次安保闘争。この6.15で樺美智子さんが全学連の国会デモで南通用門前で第4機動隊員に殺された。

翌日の大阪市大の1000人のデモの後方に日の丸の旗が翻っていた。恐らく体育会のグループが参加していたのだろう。反安保の声がいかにも多くの学生に支持されていたかがわかる。

60年から66年、警職法反対闘争。大阪府庁に押し掛けたデモは府庁入口の溝に押されて散らかった。

た。片桐さんも落ちて負傷した。



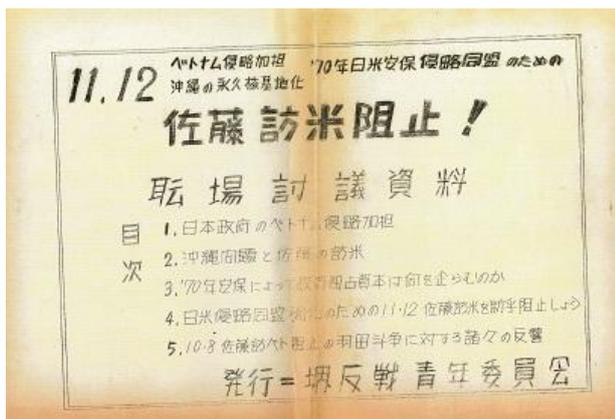
佐世保米空母エンタープライズが寄港するのを反対する闘争。連日九州大学から出撃する全学連のデモに民衆の支持が集まり、戦いの場である佐世保は民衆で埋まった。そしてカンパが100万円集まった。ブント系は鳥栖でゲバ棒とドッキングして武装した。



68年アスパックに反対して京大、同志社大ら京都勢は大阪市大杉本校舎に終結した。総指揮は同志社の望月上史、大阪は西浦隆男。関西地区反戦も参加した。大阪市大を出たデモ隊は地下鉄を乗っ取り、本町で御堂筋に躍り出た。ゲバ棒を槍倉のように横一列に構えて機動隊を蹴散らした。

私は高幣真公と堺地区反戦を組織した。全通堺、国労鳳をまきこんだ堺反戦は全電通を軸とする北大阪反戦と共に大きな地区反戦だった。吉田金(吉田金太郎)ちゃんもメンバーだったし、森岡君が長だった。吉田金ちゃんはその後よど号ハイジャックに加わって、北朝鮮で病死した。

この飛行機をベトナムにとばすな。戸村委員長を



いただく反対同盟に連帯して三里塚闘争が68年3月10日、31日に戦われた。

関西地区反戦から参加した片桐さんは機動隊の警棒でヘルメットをたたかれ、それを防ごうとしてヘルメットに手を当てたところを警棒で殴られ指を骨折した。



70年代京大の坂井與直(高見沢洋一)が私の家におとずれた。私はわずかばかりの金をカンパした。その前後彼は京都を訪れて、森本忠紀君らにカンパしてもらっていたのだろう。私は次の戦いの波がおとずれることを、彼のためにも望んだ。しかし彼は癌におかされ。北海道の母の元に倒れこんで死んだ。惜しい男を亡くした。原発反対の運動がおこった。この運動に参加しながら彼がいないことを寂しくおもう。